



教育目標 **自己を拓く**
明るい笑顔のあふれる勢いのある第二中学校

めざす生徒像

進んで学び

- 自ら課題を見だし、学習を通じて思考力、判断力、表現力、想像力を身に付けた生徒
- 既習体験をいかして、主体的に未来を切り拓ける生徒

心優しく

- 人権感覚を身に付け、思いやりの心を持ち、いじめを許さない生徒
- 共感的な人間関係のもと自他の存在を尊重しあえる生徒

心身をきたえる

- 基本的な生活習慣や社会規範を身に付け、実践する生徒
- 進んで運動に励み、心と体をきたえる生徒

方針

- 生徒の「生きる力」を育成するために、個に応じた教育を進め、地域に根ざした活動を展開し、「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」の育成に努める。
- 全教職員が家庭・地域とともに協働態勢のもとで意欲と使命感をもって学校経営に参画し、生徒や家庭や地域の信頼や期待に応え、魅力ある学校づくりに努める。

努力点

- 基礎学力や学び方を身に付けた生徒を目指して、新しい時代と変化に対応した「社会に開かれた教育課程」の改善・充実に努めるとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた日常の授業改善と年間授業時数の確保を進める

- 思いやりや支え合いの心あふれる学校をめざして、生徒にとって心の居場所のある学年・学級経営に努めるとともに、生徒一人一人のよさを伸ばすための教育相談・生徒指導の組織的な取組を進める。

- 思いやりの心や自主自律の精神の育成をめざして、生徒会活動（の活動）の充実と公共心を育む道徳の授業の実践に努める。

社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価・改善

令和2年度の重点目標

未来とのつながりを実感できる教育活動の実践

○ **学習指導の充実**

- 主体的・対話的で深い学びのために高め合う教師集団として、一人年間1回以上の研究授業の公開と授業研究会を積極的に行う。
- 管理職や教務主任、学力向上コーディネーターが定期的に授業参観をしたり、指導・助言を行ったりして、授業の改善・充実に努める。
- 週案簿を効果的に活用し、明確なねらいの提示による見通しをもった学び、振り返りのある授業を行う。

○ **心の教育の充実**

- いじめを許さない心や態度を生徒自身で醸成できるよう、生徒が主体となったいじめ防止活動の発展・充実に努め、いじめ防止基見直して具現化を図る。
- 生徒の自己有用感を喚起できる働きかけを重視し、自己決定を尊重できる学習環境づくりを推進する。

○ **キャリア教育の充実**

- 今の学びが将来につながることを意識した教育活動を展開する。
- 発達段階に即した基礎的・汎用的な能力の育成をめざした「キャリア教育」を推進する。
- 小中高や家庭、地域との連携を図る。

○ **多様な教育活動の推進**

- 特別支援教育を一層充実させ、個別の支援計画に基づく適切な指導をチームで推進する。
- 生徒の自主性を尊重し、生徒相互の連帯感の育成をめざした生徒会活動(委員会活動等)の充実を図る。
- 福祉教育や環境教育、ボランティア活動を重視し、社会との関わりを通して、生徒の主体性や協調性及び共生の概念の育成を図る。

○ **生徒指導及び教育相談活動等の充実**

- 共通理解のもと組織的・機能的な生徒指導及び教育相談態勢の充実に努める。特に不登校生徒に対しては学級担任とスクールカウンセラーや心の教室相談員との連携により不登校生徒及び保護者への積極的な支援活動を推進する。

○ **安全・安心な学校環境の整備**

- 定期的な施設設備の点検を全員で行うとともに、管理職と施設担当が連携し、日常的な施設確認を行う。
- 全職員でリスクマネジメントとクライスマネジメントを意識し実効性のある学校危機管理マニュアルを作成する。
- 地域内での風水害や地震等の天災や感染症対策を共有し、一丸で対応できるようにする。

○ **家庭や地域との連携・協働の充実**

- 学校の教育力を向上させるために様々な地域の人的・物的教育資源を積極的に活用する。
- 家庭と協働し、望ましい生活習慣(家庭学習や読書、休日の過ごし方、挨拶や手伝い等)や食習慣(朝食の重視)の定着を図る。
- 学校公開や保護者会、ホームページ等を活用した広報活動を通して、保護者や地域に正確な情報を発信し、家庭や地域の信頼と協力を得る。
- 学校評議員会やPTA役員会の機能を充実させて、来るコミュニティスクール実施に向け、地域の声を学校経営に反映させる。

資質向上研修やOJTを通じて【教師力】の強化

めざす教職員像

- ・実践する
- ・努力する
- ・支え合う
- ・参画する

★授業で勝負する教師

【地域力】の活用